



2020 - 2021 会長 吉田克人 幹事 加藤宏治

Vol.14 1830 2021.2.3

吉田会長挨拶

本日は昨年11月18日に例会を開催して以来コロナ感染拡大のため中止になっていましたが久々の例会です。検温、消毒、ソーシャル・ディスタンス等の感染防止対策を十分に行ったうえでの開催です。



◆会長挨拶◆

皆さんこんにちは。昨年11月以来の例会です。何とか例会を開催することが出来てうれしく思います。

本日は茅野市長今井敦さんをお迎えして卓話をお願いしてあります。13時よりZoomでも配信します。

さる1月9日会員の水野由加里さんのご尊父様の葬儀が家族葬で行われ、クラブより香典、生花、弔電をお届けしました。

本日の誕生日のお祝いはコロナで例会中止になっていた12月、1月、2月の3か月分をまとめて行います。

飯田では桜の開花が報告されています。

お誕生日おめでとう!

12月・1月・2月誕生日

- 小海昌訓会員、杉本浩美会員
- 原田和郎会員、金田照俊会員
- 石田元一会員、伊藤良和会員
- 熊澤純平会員、水野由加里会員



※別紙幹事報告書

ニコニコBOX

人数
33人
金額
86,000円

- ◎吉田 克人会長 新年あけましておめでとうございます。12月、1月と例会が出来ず、2月まで来てしまい残り5カ月休まず続けられるように体に気を付けて頑張りましょう。
- ◎柳平 千代一会員 小学6年生の孫(女子)が陸上競技の小学生二種競技(走り幅跳びとボール投げの総合)で全国ランク1位となりました。将来が楽しみです。皆さん応援よろしくお祈いします。
- ◎水野 由加里会員 結婚記念日のお花ありがとうございました。今月は誕生日と創業記念の月でもあります。51歳も元気で頑張ります。先日の父の葬儀にはお心遣していただきありがとうございました。
- ◎熊澤 純平会員 入会して1年が経ちました。コロナが早く終息して宴会してもらえるようになれば・・・
- ◎小池 源一会員 12月5日結婚記念日でした。お花ありがとうございました。
- ◎山本 陽介会員 結婚記念日のお花ありがとう。
- ◎小海 昌訓会員 誕生日です。
- ◎加藤 宏治 幹事 久しぶりの例会。今日、市長をお迎えして、よろしくお祈いします。

出席報告

会員数 56名
出席 42名
出席率 75%

◆ 卓 話 ◆

茅野市長

今井 敦 様

皆さん本年もよろしくお祈いします。今年はずもと全く違う年末年始でした。本来なら成人式、出初式や名刺交換会があり、いつもはそういう場で皆さんとお会いしているはずでしたが、いつの間にか2月に入ってしまったわけです。

【茅野市のコロナ感染について】

今まで1年ほどにわたりコロナとの闘いに費やしてきた。まさか1年にもなると思ってもみなかった。

年末年始は人の移動と集まりなどが起点となり、長野県内でも非常に感染が拡大、諏訪圏域もその例にもれず県内でも比較的あとになって感染が拡大した。

諏訪圏域は、全体的に見て感染が急に増えるということではなかったが茅野市では連日感染者が出た。医療体制は他の県域よりしっかり体制は整っていたと思う。

茅野市では身近な人が首都圏、あるいは県内では感染が拡大していた松本などに行ってきた人が感染し、その人から家族にうつり感染の人数が増えていった。クラスターが心配されるころもあったが何とか抑えられた。

やっと長野県全体で落ち着きを見せてきているが、まだ首都圏等緊急事態宣言が出ていて微妙な状態である。

【茅野市の経済状況とその対策について】

市内の企業の状態を見ても、昨年の春先の時より厳しい状態になっている。

年末年始で何とか取り返そうと目論んでいたがそれもかなわなかった。経営者の中には望みを絶たれて心が折れそうになっている方がいる。そこを何とかしようと緊急の経済対策を発表した。すずめの涙ほどのものになってしまうが飲食業、観光業等、市内約2000社の企業に1億6千万ほど支給する。基金を取り崩して行う。

経済対策は今後の状況を見て臨機応変で行う。

【感染防止について】

ワクチン接種体制を整える。30名体制のコロナワクチン接種対策室を設ける。接種時期はワクチンの輸入状況によりはっきりとしないが、まずは医療従事者から行う。

集団接種が基本で、出来ればかかりつけ医での個別接種も行えるようにしたい。積極的に摂取していただきたい。

今後もコロナウィルスと付き合いがいかねばならない。このため人からうつされたい、うつされたいために正しくマスクをつけていただきたい。マスクをしないことで相手に恐怖感を与えないようにすることも大切。

コロナの感染拡大を抑えつつ経済も回していかないといけない。そのバランスが大事である。

【来年度予算について】

来年度の茅野市の予算は274億円を見込む。これは茅野市の身の丈を超えている。

昨年度より20億円ほど増えている。これは主に永明小中学校の建設でその他ワクチン接種にまつわるなどの費用である。

市が自由に使えるお金は155億円くらいある。そのうち諏訪東京理科大、諏訪広域連合等に支払うお金が32億円ほどあり、結局本当に自由に使えるのは120億円くらいになる。

ただここ数年、その支払うお金が急激に増えている。またコロナの影響で市の税収も減る見込みである。諏訪中央病院への拠出金や、今後永明小中学校建設にかかる費用等を払っていかないといけない。

また公共施設老朽化等に対してお金がかかるため、今後新築するのか廃止するのか、または統合を考えるなど今から議論を重ねていかないといけない。何とか予算を減らすようにしていかないといけない。

